

令和3年度 第1回松山市国民健康保険運営協議会（書面開催）

令和4年3月22日（火）

～3月31日（木）

委員（17名）

被保険者代表 : 河端委員 原田委員 竹内委員 岡本委員 戒田委員
医療機関代表 : 矢野委員 松本委員 高石委員 板野委員 田中委員
公益代表 : 田中委員 西市委員 加藤委員 越智委員 大鹿委員
被用者保険等代表 : 荻野委員 前島委員

書面開催により、以下の報告を行った。

議事1. 国民健康保険事業特別会計について

【全委員】 意見なし

議事2. 松山市国民健康保険条例の一部改正について

【全委員】 意見なし

議事3. 新年度の保険料率について

【全委員】 意見なし

議事4. 基準収入額適用申請書の提出不要化について

【委員A】 申請がなくても一部負担金の割合が2割負担の保険証を交付していただけるのは、被保険者にとっては助かる方法だと思う。

【委員B】 加入者の申請忘れはどのくらいあるのか。
住民票異動の際も申請が必要無くなれば良いが、条件が必要かと思う。

議事5. 重複・多剤服用者対策事業について

【委員C】 高齢になるほど多くの薬を服用する傾向にあると思うので、家族などが当事者と一緒に薬の整理をすることが大切だと思った。

【委員B】 取組みの効果が見られるのでこの効果を広く知ってもらいたい。これからも薬剤師や医療機関との連携をお願いしたい。

議事6. 生活習慣病重症化予防のための医療機関受診勧奨事業について

【委員C】 毎年、決まった時期に特定健診の通知が届き、健診後は適切なアドバイスでサポ

ートしていただいている。

- 【委員D】** 今後必要な取組みの一つとして、特定健診の活用を促すことは、治療への入口で大切なことだと思う。組織に所属せず、特定健診が先延ばしになっている人に対して、どのような取組みをしているのか興味がある。誕生日等の記念日をきっかけにしたり、公民館で啓発したりできるのではないかと思う。

その他意見

- 【委員C】** ジェネリック医薬品を服用するにあたり、お薬手帳はとても役立っている。
- 【委員E】** 現在、後発品供給が制限されている状況。先発品を調剤せざるを得ない状況も金額的に効果が出ない要因ではないか。

以上のご意見に関して、今後国民健康保険運営の参考とさせていただきます。